

今回は、「くらしよし倉吉のまちづくりと政治」をテーマに、

- 1 鳥取看護大学に関連して
- 2 教育環境の整備について
- 3 倉吉のまちづくりに関連して
- 4 市民に身近でわかりやすい市政について、質問いたします。

① (1) はじめに、鳥取看護大学に関連してです。

地域と大学の連携ということでお聞きします。

- ① 昨年8月に、「市と鳥取短期大学との包括的な連携」が締結されています。改めて、その内容と現在実際に行われていることをお聞きします。
- ② 4月に開学した鳥取看護大学とは包括的な連携は締結されていないと思いますが、鳥取看護大学との包括的な連携は締結されないのですか。

① (2) 地域との関わり～「学生のまち」についてです。

- ① 民間レベルでは、鳥取短期大学・鳥取看護大学に対して交流活動等の取り組みが行われています。市としてはどのような関わりを持っておられるのかお聞きします。
- ② 「金沢市における学生のまちの推進に関する条例」についての感想があればお聞かせください。具体的な「学生のまちを進める施策」の中に倉吉市としても参考になるものがあると思いますが、どうでしょうか。中心市街地活性化事業の一環としても交流拠点の設置も有効だと考えますがどうでしょうか
- ③ 「包括的な連携の締結」を含め、これまで以上に行政のリーダーシップ、関わりが大切だと考えますが、如何でしょうか。

① (3) 学生の確保について～大学入試センター試験に関連してです。

- ① 大学入試センター試験について
 - ・ しくみ(趣旨等)、実施校の状況等についてお聞きします。
 - ・ 県中部の受験生の実態についてお聞かせください。
- ② 平成27年のセンター試験では、参加校総計849校の内、私立の大学が523校、私立の短大144校が参加している実態があります。鳥取看護大学・鳥取短期大学でも大学入試センター試験に参加、実施されることを期待していますが、開学に関わった市としてはどう考えていますか。

② (1) 教育環境の整備～学校と政治・主権者教育についてです。

- ① 高等学校において政治・主権者教育はどのように行われていますか。
- ② 小・中学校における政治・主権者教育はどのように行われていますか。
- ③ 中学校と高等学校の連携について(教育内容・カリキュラムに関して)
- ④ 小・中学校では、政治・主権者教育に限らず専門性や多様な経験をお持ちの方を学校におよびして学習をすることがあります。外部人材の活用について

はどうなっていますか。

② (2) 次に、ハード面における教育環境の整備についてです。

- ①平成25年12月議会でも教育環境の整備（エアコン、洋式トイレ）の設置について質問しました。質問の時点ではエアコン（32%）、洋式トイレ（37%）の設置率でしたが、現状の設置率と今後の方針はどうなっていますか。
- ②河北小学校のような、オープンスペースを多く取った学校は他にもありますか。ある場合、子ども、保護者、教員などから意見・要望などはありますか。仕切りをつけて、落ち着いた環境にする考えはありますか。

③ (1) 県立美術館誘致についてです。

- ①美術館誘致に関連して、どのような経過があったか簡単に説明をお願いします。
- ②県の有識者委員会が考えている新設地の条件は？ 分かっていることは？
- ③倉吉市が挙げている3つの候補地（旧河北中学校、伯耆しあわせの郷、市営ラグビー場）について、候補とした理由を教えてください。

③ (2) 県立美術館建設

- 県や審議会の動向を把握しながら、倉吉市としての意見を集約する。市・市民・市議会等が一体となった取り組みとすることが大切です。少なくとも、候補地を幅広く挙げておくだけでなく、3候補地のうち倉吉市としてどう考えていくのか方針を詰めていくことが必要ではないかと思いますが、どうですか。

③ (3) 中心市街地活性化についてです。

- ①基本計画案が3月時点で配布されたものと変更になっています。市ホームページには、「協議会、パブリックコメントを反映した」とありますが、どのような経過・内容なのでしょう。
- ②この事業は5年間で、追加・修正も可能となっています。しかし、主な民間事業、民間事業者への補助事業について、明らかに国の予算では少なく心配です。事業の充実、新たな事業展開をすすめるために、この面の対応はどう考えておられますか。
- ③沢山の事業が計画されていますが、その中で、例えば、「小川記念館整備事業」「倉吉駅前ファーマーズマーケット整備事業」等とくに注目しています。これらの事業について、どのようなものか説明していただけますか。

③ (4) 旧明倫円形校舎についてです。

- ①「少し方向が定まった」とは、これまで言ってこられた「地域としての合意」が得られたというところですか。市長の認識・判断をお聞きします。
- ②「実現可能なプラン」とは、何をもって判断するのですか。昨日の答弁から考えると、

「(1)耐震化・老朽化改修がきちんと出来るか(2)誰が責任を持ってやるのか(3)コストをどういうふうに分担していくのか」という中活事業に盛り込むための判断基準を満たすことだと考えてよいのですか。

③「実現可能性の判断が出来るような状況をつくって欲しい」と言うのが、現在の市長の認識・思いだと考えてよいのですね。

③ (5) 倉吉駅北側の整備状況についてです。

①県への移管整備となった駅北通り線と駅北(大平町)から福庭に抜ける道について、事業の進捗状況はどうなっていますか。一部地域への説明はされていると聞いていますが、きちんとした情報としてお聞きしたい。

②駅北の12街区についてプロポーザル方式として公募をしていたと思いますが、その後どうなっていますか。

③ (6) 倉吉駅北側にある12街区についてです。

○関係機関との調整、内容面の検討、予算面など課題はあるかと思いますが、定住自立圏と中心市街地活性化の目玉として12街区を複合的な施設として検討してみても如何でしょうか。

③ (7) 次に、倉吉未来いきいき総合戦略会議についてです。

○倉吉未来いきいき総合戦略会議について、特に中心市街地活性化に関連することがありましたらお聞きします。

④ 市民に身近で、わかりやすい市政についてです。

①平成26年12月議会で質問した「市民にわかりやすい予算書の作成と説明」に対して「自治連合会などと相談しながら実現できるように努力したい」という答弁でしたが、その後どのようなようになったのでしょうか。

③議会で質問で出たこと、提案のあったこと等への経過や対応、改善されたことなど、中間報告でもよいので市民にも知らせる・アピールすることは出来ないのでしょうか。

平成27年6月議会議案質疑 6月15日(月)

議案第52号 平成27年度倉吉市一般会計補正予算(第2号)

① 2款1項9目「総合交通対策(企画)」予約型乗り合いタクシー運行事業についてです。

①高城地区・北谷地区におけるバス利用の状況とその理由(減っている理由と分析)について教えて下さい。

②また、現状の経費(補助金)と予約型乗り合いタクシー運行事業実施に伴う

初期投資を除く運行事業補助経費はどうなっていますか。

③事業実施に伴う効果について（経費削減となるのか）お伺いします。

② 予約型乗り合いタクシー運行事業について、路線バスの運行と利用方法などはどうなっていますか。

③ 今回の補正予算 1241万円を含めると補正後の予算は、1億3251万円となり、その多くはバス運行対策費の補助です。

今回の事業実施にあたっては、単市路線を中心として「倉吉市地域公共交通会議」で課題を共有したり、市民へのアンケートを参考にしていると思います。直接この事業に関わることを中心として結構ですので、市民アンケートや会議等での意見をお聞かせ下さい。